

共催セミナーのご案内

第1日目 7月22日(木)

スポンサードシンポジウム 8:00 ~ 9:40

SSY1 【第4会場 5F ルビー】

消化器癌におけるがんゲノム診断と分子標的治療

司会：工藤 正俊（近畿大学医学部 消化器内科）

久保 正二（大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵外科学）

「がんゲノム診断と大腸癌における分子標的治療の現状」

演者：砂川 優（聖マリアンナ医科大学 臨床腫瘍学講座）

「肝内胆管癌の多様性と治療選択における病理学診断の重要性」

演者：小無田美菜（国際医療福祉大学成田病院 病理診断科）

「肝内胆管癌を含む胆道癌のがんゲノム診断と分子標的治療」

演者：金井 雅史（京都大学大学院医学研究科 腫瘍薬物治療学講座）

共催：インサイト・バイオサイエンス・ジャパン合同会社

ランチョンセミナー 11:50 ~ 12:40

LS1 【第1会場 2F クリスタルガーデン A】

肝細胞癌薬物療法新時代における新たな選択肢～カボザンチニブの役割～

司会：泉 並木（武蔵野赤十字病院）

演者：工藤 正俊（近畿大学医学部 消化器内科学）

共催：武田薬品工業株式会社

LS2 【第2会場 2F クリスタルガーデン B】

肝細胞癌治療—進化する内科的・外科的アプローチ—

司会：加藤 直也（千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学）

「Real World で示されたレンバチニブのポテンシャル」

演者：多田 俊史（姫路赤十字病院 肝臓内科）

「肝細胞癌におけるConversion therapy」

演者：波多野悦朗（京都大学 肝胆膵・移植外科 / 兵庫医科大学 肝・胆・膵外科）

共催：エーザイ株式会社 / MSD 株式会社

LS3 【第3会場 4F パール】

高齢化 / 多様化する HCC における最適な治療マネジメントを考える

司会：井戸 章雄（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 消化器疾患・生活習慣病学分野）

「肝予備能を重視したマルチライン治療の重要性」

演者：平岡 淳（愛媛県立中央病院 消化器内科）

「TKI 治療における適切な AE マネージメント」

演者：和田 幸之（国立病院機構 九州医療センター 肝胆膵外科）

共催：バイエル薬品株式会社

LS4 【第4会場 5F ルビー】

肝癌診療が変わる！—薬物療法の現状と今後の展望—

司会：金子 周一（金沢大学大学院 消化器内科）

演者：建石 良介（東京大学大学院医学系研究科 消化器内科学）

共催：アストラゼネカ株式会社

スポンサードシンポジウム 12:50 ~ 14:30

SSY2 【第4会場 5F ルビー】

基礎と臨床の観点からみた進行肝細胞癌に対する複合免疫療法

司会：鳥村 拓司（久留米大学医学部内科学講座 消化器内科部門）

「アテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法が臨床に及ぼすインパクト」

演者：上嶋 一臣（近畿大学医学部 消化器内科）

「免疫複合療法時代における肝細胞癌の Sequential 治療」

演者：平岡 淳（愛媛県立中央病院 消化器内科）

「基礎から考えるがん免疫療法 Now & Future-臓器特異性をどう考えるか-」

演者：西川 博嘉（名古屋大学大学院医学系研究科 微生物・免疫学講座分子細胞免疫学、
国立がん研究センター研究所腫瘍免疫研究分野 / 先端医療開発センター
免疫トランスレーショナルリサーチ分野）

共催：中外製薬株式会社

スポンサードセミナー 15:20 ~ 16:10

SS1 【第4会場 5F ルビー】

初の国産 RF システム arfa の利点を活かした RFA 治療を探る

司会：黒松 亮子（久留米大学 消化器内科）

「若手・中堅医師とともに行う安全確実な RFA 治療

～ Thermo monitor 下電極長可変式 "arfa" の有用性～」

演者：土谷 薫（武蔵野赤十字病院 消化器科）

「当科の肝細胞癌に対するアブレーションシステム arfa の使用経験」

演者：小森園康二（南風病院 肝臓内科）

共催：日本ライフライン株式会社

イブニングセミナー 17:50 ~ 18:40

ES1 【第1会場 2F クリスタルガーデン A】

分子標的薬の作用機序および Real World Data から進行肝細胞癌の治療シーケンスを考える

司会：工藤 正俊（近畿大学 消化器内科）

「血管新生制御を中心とした分子標的薬の作用機序」

演者：高倉 伸幸（大阪大学 微生物病研究所）

「Real World Data より進行肝細胞癌の治療シーケンスを考える」

演者：平岡 淳（愛媛県立中央病院 消化器内科）

共催：日本イーライリリー株式会社

ES2 【第2会場 2F クリスタルガーデン B】

2cm 以内の腫瘍に対する Emprint™ の有用性

司会：玉井 秀幸（和歌山ろうさい病院 肝臓内科）

演者：山口 晃弘（国立病院機構埼玉病院 消化器内科）

演者：谷木 信仁（慶應義塾大学医学部 消化器内科）

共催：コヴィディエンジャパン株式会社

ES3 【第3会場 4F パール】
病理学的観点と臨床的視点から見た肝癌複合免疫治療の新展開
司会：井戸 章雄（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 消化器疾患生活習慣病学）
「肝細胞癌における免疫微小環境の病理学的多様性について」
演者：紅林 泰（慶應義塾大学医学部 病理学教室）
「臨床的視点からのテセントリク+アバスチン治療の展望」
演者：中馬 誠（横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター 内科）
共催：中外製薬株式会社

ES4 【第4会場 5F ルビー】
がん診療における中心静脈ポート管理の要点
～症例から学ぶトラブル・シューティング～
司会：泉 並木（武蔵野赤十字病院）
演者：菅原 俊祐（国立がん研究センター中央病院 放射線診断科）
共催：株式会社メディコン

第2日目 7月23日（金）

ランチョンセミナー 12:05～12:55

LS5 【第1会場 2F クリスタルガーデン A】
肝内胆管癌における新たな個別化治療のアプローチ
司会：工藤 正俊（近畿大学医学部 消化器内科）
「内科から見た肝内胆管癌に対する新しい個別化治療」
演者：上野 誠（神奈川県立がんセンター 消化器内科（肝胆膵））
「外科から見た肝内胆管癌診療ガイドラインと個別化治療」
演者：久保 正二（大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵外科学）
共催：インサイト・バイオサイエンシズ・ジャパン合同会社

LS6 【第2会場 2F クリスタルガーデン B】
What is the best choice of TACE for patients?
～エントリーサイト (R.A.V.I.*) から考える低侵襲治療の可能性～
*Radial Access for Visceral Intervention
司会：豊田 秀徳（大垣市民病院 消化器内科）
パネリスト：
石川 達（済生会新潟病院 消化器内科）
黒田 英克（岩手医科大学附属病院 肝臓内科）
小川 力（高松赤十字病院 消化器内科）
近藤 孝行（千葉大学医学部附属病院 消化器内科）
友成 哲（徳島大学病院 消化器内科）
共催：テルモ株式会社

LS7 【第3会場 4F パール】
肝予備能を維持しシークエンシャル療法へつなげる進行肝細胞癌治療戦略
～予後を最大限延長するための薬剤選択～
司会：金子 周一（金沢大学大学院 消化器内科）
演者：加藤 直也（千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学）
共催：日本イーライリリー株式会社

LS8 【第4会場 5F ルビー】

免疫制御を介した肝細胞癌治療への期待

司会：黒崎 雅之（武蔵野赤十字病院 消化器内科）

演者：中本 伸宏（慶應義塾大学医学部 消化器内科）

共催：中外製薬株式会社

スポンサードセミナー 13:10 ~ 14:00

SS2 【第4会場 5F ルビー】

MRIを中心とした肝癌の総合画像診断

司会：吉満 研吾（福岡大学医学部 放射線医学教室）

演者：斎藤 聡（虎の門病院 肝臓センター）

共催：バイエル薬品株式会社

スポンサードシンポジウム 14:00 ~ 15:40

SSY3 【第4会場 5F ルビー】

免疫療法時代のレンバチニブの役割

司会：坂本 直哉（北海道大学大学院医学研究院 内科学講座消化器内科学教室）

「レンバチニブのメリットを活かした Sequential Therapy」

演者：打田佐和子（大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学）

「WNT/ β -catenin mutated HCC に対するレンバチニブの可能性」

演者：山内 理海（広島大学病院 消化器・代謝内科 / がん化学療法科）

「RWE から導かれるレンバチニブの価値とポジショニング」

演者：黒崎 雅之（武蔵野赤十字病院 消化器科）

共催：エーザイ株式会社 / MSD 株式会社